

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2671400261		
法人名	株式会社エバカラ		
事業所名	エバホーム		
所在地	京都府木津川市梅美台2丁目1-1		
自己評価作成日	平成29年3月20日	評価結果市町村受理日	平成29年6月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/26/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=true&amp;JkyosyoCd=2671400261-00&amp;PrefCd=26&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/26/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=true&amp;JkyosyoCd=2671400261-00&amp;PrefCd=26&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成29年4月14日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

個別ケアに力を入れている(一人一人の背景を機会ある毎聞き取る)ご本人の思いとご家族の思いを日々ケアに取り入れている。食の支援には特に力を入れている。今日食べたい明日食べようの気持ちになるよう実行しサービスしている。その為には、職員は利用者に声掛けをして情報を集め共有している。又、職員は誰がしても同じ事、誰でも出来るを志し即、ご利用者には答えられる様、日々連絡をしながら確認振り返り次につなげている。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

当該事業所はフロア等に多くの生花やフラワーアレンジメント、花の写真などを飾り、温もりのある雰囲気作りに努めています。利用者日々の生活が単調にならないよう食事の日、買い物の日、体操の日、歌の日など、毎日活動ができるようイベントを企画し、楽しみのある暮らしを送ることができるよう取り組み、週末は事業所で寛いで過ごしてもらえよう配慮しています。暦に合わせた行事食の他、利用者の食べたいものを聞き、多くの種類を揃えたパン食やカニすき、外食等趣向を凝らし利用者が楽しみながら食事ができるよう取り組んでいます。また法人では職員育成に力を入れており、年3回チェックシートを用い自己評価を行うことで振り返りを行うとともに職員の離職率も少なく、職員間で連携を図りながら日々のケアに取り組んでいます。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input checked="" type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input checked="" type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所内に運営理念を掲示して、日々確認出来る様にしている	法人の介護指針を基に事業所独自の理念を作成し、フロアに掲示すると共に職員は出勤時理念の確認を行い業務に当たっています。新任入職時には理念についての意味や方向性について説明を行っています。また、ユニット目標を基に職員個々の目標を作成し半期毎に振り返り、年度末には自己評価と管理者評価を行い次年度の目標に繋げています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のクリーン運動に参加している。又、幼稚園児達の来園やボランティアを招いて交流をしている。	自治会に加入し地域の方から行事等の情報を得て、クリーン活動や夏祭り、利用者と一緒に参加し、秋祭りには神輿が立ち寄ってくれることもあります。また事業所の1階でバザーを開催し地域の方に参加してもらい、認知症の理解に向けての話しを行っています。近隣の商店から米を購入したり、近隣の動物病院やドッグカフェとの交流をあり、地域との関わりを広げています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市役所の月一回第一月曜10時からキャラバンメイト調整会議に出席している。その際、養成講座実施計画を聞いてシフト調整して現場に出向く様にしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議時に、月の行事や活動報告をスライドショーにて説明している。又、出席者(家族様・包括・市役所・地域代表)の生の声を頂いている。	会議は地域住民や家族、市職員、地域包括支援センター職員等の参加を得て隔月に開催しています。スライドにて利用者の暮らしの様子を見てもらい、行事の報告や事業所の状況報告後、意見交換を行っています。市職員からの食中毒や熱中症等についての注意喚起や看取り支援や親睦会などをテーマにして話し合うなど有意義な会議となっています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	アンケート依頼等、出来るだけ協力している。日々変化する内容等、気軽に聞ける雰囲気作りが出来ている。	運営推進会議に市職員の参加があり事業所への理解を得ています。疑問点や相談事など何かあれば市の窓口に出向いたり、キャラバンメイトの調整会議への参加や勉強会の講師依頼等あれば協力をするなど行政と良好な関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	情報開示の際のレジユメを使ってスタッフ会議の時、身体拘束について周知している。精神面(外にでない)拘束も勉強している。	法人主催の身体拘束についての研修を受け、資料を基に伝達研修を行い全職員に周知しています。安全に見守りを行うため夜間のみ2点柵を使用する場合がありますが家族と相談し了解の下、行っています。言葉による制止等にも配慮し、言葉を選んで対応するようにしています。エレベーターやユニット出入口は自由に行き来ができ、外に出たい様子が見られた場合は職員が付き添い行動を制止しないような支援に努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待はしていない。確認する為に小さな事(あざ等)その都度インシデントを記載している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の中で制度を利用している方がいる。その人の今後の事を含め、制度について説明している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、重要事項の説明や利用契約書を文書で示し、時間をかけて説明している。又、質問を聞きながら確認して頂いている。又、難しい事だが質問が出来る様な雰囲気を作っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者や職員は、日頃の対応や会話の中で、意見・要望をくみ取るように心がけている。ケア会議等で情報交換や意見交換を行い運営に活かしている。又、カンファレンスとして、ケアプランも記載している。	利用者からの要望については日々聞いており食事やサービスに反映し、家族からは面会時等に利用者の日々の様子を伝えたり、利用者の様子を記載した個別ケアノートを見てもらい、意見や要望を聞くようにしています。また年1回の満足度調査や家族の親睦会も行い意見を聞く機会を設けています。散歩など外に出る機会を作って欲しいという意見を受け外出レクリエーションを取り入れるなど得られた意見や要望を反映するようにしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関しては、出来る限り9人満床維持を心掛けている。その都度利用者の気付きを報告できる様に、ノートを用意している。その都度、確認しサインしながら仕事をしている。	職員は日々の業務やケア会議等で意見を活発に出しています。また、連絡ノートや個人ノートを作成し意見があれば何でも記載できるようにし、意見が出しやすいよう工夫しています。職員の意見を基に整理整頓をするためのボックスの購入など物品購入に繋げたり、行事の後は意見交換を行い振り返りをするなどサービスの向上等に繋げています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本社には、楽ちんキャリアアップ制度がある。年3度勉強し、試験にチャレンジ出来る。合格すれば給料UPもある。向上心を持って働けるような職場環境になっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	昭和生まれ、平成生まれと時代差があるが、福祉の世界で自身を持って働ける様、教育活動に力を入れ取り組んでいる。		

エバホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じ施設内又、実践者研修等、積極的にテーマに取り組んでいる。受けた職員は月一回の会議でフィードバックして全員に周知している。		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントの際、可能な限りその人の背景を知るよう努めている。キーパーソンには困ったことがあればすぐに電話して教えてもらい認知症の方のフォローをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の困っている事、家族の困っている事、それぞれ受け止めエバホームを在宅として受け止めて頂ける様連絡しあっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアプラン・家族対応等(個別援助計画ノート)確認しながら自立できる様支援をさせて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	GHらしく、出来る事をお声掛けをしている。年々出来なくなっていく事を認め出来る事を確認し合っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、スタッフから一言通信(その月のお体の様子・暮らしの様子をまとめたもの)や笑顔便り(その月の行事などを写真で集約したもの)を送付している。その他に、様子見つ個人に電話で報告連絡もする。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚やご友人にも気軽に立ち寄っていただけるように努めている。手紙や、電話等があった際もこれまで通りに交流できるよう支援に努めている。	親戚や友人の来訪時には居室やリビングなど選んでもらい、椅子やテーブル、お茶などの用意をし、ゆっくり過ごしてもらえるよう配慮しています。馴染みのクリーニング店や美容院への送迎などの支援もしています。家族と一緒に外食や冠婚葬祭等で行く際はタクシーの手配や身支度等の支援を行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士がコミュニケーション作りが出来るように職員が中に入り、共通の話題を見つけたり全員で出来るレクリエーションを考えている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご逝去はあるも、ここ一年間はご退去ない		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	エバホームは、特に食事に力を入れている。「今日、何食べたい」と聞いて食事作りをする事がある。	入居前の面談で利用者や家族から生活歴や家族構成等を聞きアセスメントシートに記載し職員間で共有しています。入居後は日々の会話や様子、表情等から気づいたことや意向に繋がる言葉については介護記録や個人記録ノートに記載しカンファレンスで本人本位に検討しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報や入居後にアセスメントシートに記入し、把握に努めている。ご本人、ご家族から話を聞いて把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各個人ノートを用意している。職員はノートに気づきを書き情報交換し現状維持に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ会議の際には気になる方を優先に話し合いをしてケアの方向を統一している。	本人や家族の意向、アセスメントを基にカンファレンスで話し合い介護計画を作成しています。毎月ケア会議を行い計画についてのモニタリングや個別のケア、新たな検討課題等について話し合い状況に変化がある場合は随時見直し、変化のない場合は6か月毎に評価と見直しを行っています。見直しの際は再アセスメントと家族の参加を得てケア会議を行い、参加できない場合は電話にて報告しています。必要に応じて事前に聞いた医師や看護師の意見等を計画に反映させています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイル・個人ノートを作っている。		

エバホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎日の食事、季節の行事を大切にしている。たまには、ぶっつけで行事をする時もある。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の歯医者、整形外科、薬局でお世話になっている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	健康管理をしてくださるDr・ナース・薬局の協力を得ている。身体的コントロールは、その都度希望を聞き入れている。	入居時に今までのかかりつけ医が継続できることや事業所の協力医についての説明を行い、全利用者が協力医に変更をしています。月に2回の往診があり、年2回血液検査を行っています。協力医とは24時間連絡可能となっており、緊急時は指示を仰いだり随時の往診もあります。専門医への受診は家族が対応していますが必要に応じて職員が付き添うこともあります。歯科は必要に応じて往診を受けています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の関わりの中で気付いたこと等を看護師に伝え適切な受診や看護ができるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族を交えて病院の担当者との現状や予後を話し合い、安心した治療と早期に退院できるよう努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けてはご本人、ご家族、の希望に応じ医療面、看護面、介護面の連携対応していく。・・・別紙参照	契約時に看取り指針に基づいて説明を行い、意向を確認し同意を得ています。利用者の状態に変化があった場合は都度意向の確認と往診医についての確認を行い、夜勤は職員2名の体制で看取り支援に取り組んでいます。法人主催の看取りについての研修を受講し全職員に伝達し、支援後は話し合う機会を持ち振り返りを行っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルにて職員に周知徹底している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練計画を策定し定期的に消防職員立会のもと訓練を実施している。	年3回避難訓練を行い、内1回は消防署の立ち合いの下、夜間を想定し併設の事業所と合同で利用者の参加を得て実施し、近隣の動物病院や隣家には挨拶を兼ねて案内をしています。事業所独自の訓練では避難経路や避難の所要時間等の確認を行い、地震想定訓練では避難場所まで徒歩にて避難しています。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者個人の人格を尊重した言葉かけや対応をするよう職員の意識統一を図っている。	年1回法人主催の研修を受講し、伝達研修を行っています。挨拶や会話をする時は必ず立ち止まり、目線を合わせることを基本にしています。呼称については個々に合わせており、下の名前で呼ぶ場合は必ず家族の了解を得ています。不適切な言動が見られた場合は管理者が注意をしています。また丁寧な対応ができるように職員自身の気分転換等にも配慮しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望の献立や希望のレクリエーションの内容をご本人に聞きながら自己決定を意識し取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者個々の希望のライフスタイルで過ごして頂ける様にその人のペースを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人が服装の選択が出来るようにその人に応じて声掛けや介助をし、いつも同じにならないようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に食べれる様、心掛けている。食事の時間には職員は椅子に座る事を心掛けている。	献立は利用者の好みや季節料理、旬の食材等を取り入れ立てています。利用者には野菜の下搾え等できることに携わってもらい職員と同じ食卓を囲み一緒に食事を摂っています。暦の上での行事食の他、利用者の食べたいものを聞き、多くの種類を揃えたパン食にしたり、カニすきや外食をするなど食事が楽しみなものとなるよう工夫をしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	アガーで作ったゼリーを三食で110CCご用意(味はその都度変えている)		

エバホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は歯磨き誘導を行っている。その際、口腔内の状態を確認している。義歯は夜間洗浄しお預かりしている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄記録にて排泄パターンを把握している。トイレ誘導や介助はさりげなく行って自立に向けた支援を行っている。	排泄記録を基にそれぞれのパターンを把握し、利用者の表情や仕草などサインを見逃さないようにしトイレへの声掛けや案内を行っています。本人の安心感や思いを大切に、個々に合わせた支援方法や排泄用品についてケア会議で話し合い、睡眠を妨げないような支援にも留意し、現状維持できるよう取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘になりやすい利用者様がおられるので、野菜や果物、ヨーグルト等を摂取していただけるよう心掛けている。体操や散歩等毎日運動する様取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の希望を聞き、ゆっくりと入浴して頂けるようにしている。入浴中はプライバシーに配慮するようにしている。	入浴は週2回を目途に夕方に入ってもらよう支援し、要望があれば回数を増やすことも可能です。ほとんどの利用者が入浴を好まれ、好みのシャンプーやリンスを使用したり、様々な入浴剤を使用し、色や香りを楽しみながらゆっくりと入ってもらっています。入浴を断られる際は声掛けの工夫や体調に留意し次の日に入ってもらったり、シャワー浴に変更するなど無理強いせず入ってもらえるよう支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を通し、個々に合った生活のリズムを作るようにし、安眠につなげている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の目的や副作用・容量は医師の指示等を確認し支援にあたっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お盆拭き、洗濯物干し、洗濯物たたみ、フロアの掃除、等利用者様にあった役割分担をしている。		



エバホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	散歩や近くのコンビニへの買い物など一緒に行っている。花見や紅葉狩り等の外出は希望を聞きながら一緒に考えて場所決定している。	天気の良い日は散歩や買い物に出掛けたり、地域の行事等にも出かけています。ベランダや玄関先で外気に触れる機会を作ったり、桜の花見や紅葉狩りなどは少人数ずつで出掛け、職員が車で出かける際は利用者も一緒に行きドライブを楽しんでもらうなど機会ある毎に外出できるよう工夫をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者が買い物を希望したり、コンビニへの買い物を同行された時はご本人が買い物をして頂ける様に支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	贈り物や手紙が届いたときは、電話やお手紙の支援をしている。ご家族様やご友人からの電話は取りついて直接話していただける様に支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	男性トイレ・女子トイレを分けた。季節を感じて頂ける様、玄関には飾り物をする又、一緒に飾り物作成にも加わってもらう。	共有空間は随所に季節の生花やフラワーアレンジメント、利用者と一緒に作った季節毎の作品が飾られ季節を感じる事ができます。エレベーターのフロアやリビング等にソファを置き、好きな場所でゆっくりと寛いで過ごせるよう工夫しています。掃除やガラス拭き、換気は毎日行い、温湿度については空調や利用者の体感を聞きながら調整し、快適に過ごせるよう配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	家庭的なリビングで、一人一人がゆったりと穏やかに過ごして頂いている。又、楽しくご利用者様同士で会話を楽しまれている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が使い慣れた家具(鏡台など)を持ち込まれ安心して暮らして頂いている。	入居時に何でも持ち込み可能であることを伝え衣装ケースや鏡台、椅子等を持ち込まれ、家族と相談しながら配置していますが、入居後動線や危険性を考慮し家族の了解を得て過ごしやすいよう変更することもあります。家族の写真や化粧品、筆記用具、本等大切な物も傍に置き、換気や掃除等毎日行い、快適に安心して過ごせる居室作りに努めています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	花を飾り季節を感じて頂いている。又、その月のカレンダーを(利用者の手作り)一ヶ月の予定を書き込んだりしている。		